

ところ会 4月OP-2 行事

志木の史跡を巡るコース(シリーズ-4)

日時:平成 30 年 4 月 12 日(木) 晴

集合場所・時間:武蔵野線新秋津駅 9 時 15 分

参加人員:10 名

ルート・見学場所:

志木駅東口・・・東武バス・・・さくら記念病院前出発⇒前河岸跡(舟運遺構)⇒佃堤⇒千光寺⇒宿氷川神社⇒道興准后歌碑⇒むじな橋⇒天神社⇒郷土資料館(一里塚)⇒昼食(華屋与兵衛)⇒いろは樋の跡⇒旧村山快哉堂⇒いろは樋の大樹(復元)⇒旧西川家潜り門⇒下の水車⇒いろは樋の大樹⇒朝日屋原薬局⇒東明寺庚申供養地蔵⇒宝幢寺⇒馬頭観音文字塔⇒志木市埋蔵文化財保管センター⇒西川地蔵堂・バス停(昭和新道)・・・東武バス・・・志木駅東口・志木⇒新秋津(仮解散 15:00)⇒秋津⇒所沢駅

前回のシリーズは昨年 12 月に実施し、今回は 4 回目で 5 カ月ぶり。気温は真夏日の予報が出ていて熱中症を心配しましたが吹く風が心地よく、志木駅で予定していたバスも 1 本早いバスに乗車でき、かなり余裕をもっての歩き始めとなりました。さくら記念病院前のバス停で降り、前河岸跡を通り新河岸川へ、河岸を下り袋橋で川を渡り佃堤へ、佃堤は築田堤とも呼ばれていたとのこと。次は千光寺から隣の宿氷川神社に、この宿氷川神社は宗岡の地の字宿に鎮座する神社で、字宿の名前が頭についていると思われそうですが、なぜ宿と呼ばれたかは？です。次に野老澤を詠んだ道興准后がこの宗岡の地名を詠んだ歌碑を見学し、むじな橋として伝説の残る開化橋を廻り宗岡地区の天神社に、この神社は学問の神様というよりは、地域の五穀豊穡を祈願したことで名が知られています。ここから、かなり歩いて次の一里塚と志木市の郷土資料館を見学し、昼食処である華屋与兵衛志木店でランチを楽しみ、午後のコースへ出発します。午後のコースは野火止用水と灌漑施設である「いろは樋」の関連施設巡りがメインです。にわか勉強でしたが、現状の河川と改修される前の旧河川との関連を説明しましたが、参加された皆さんが理解出来たかは疑問です。その後、引又宿の旧家巡り、引又の記述で志木市内唯一の墓又と記録されている地蔵像の光背を確認し、宝幢寺では境内の牡丹を堪能し門前にある市内最大の馬頭観音文字塔の大きさに驚きました。多少の疲れを感じながら埋蔵文化財センターで学芸員の説明で発掘土器を見学し、残り 2 件の史跡、上の水車と西川地蔵堂の見学を終えバスで志木駅に着きました。武蔵野線新秋津駅で解散し、ファミレスで反省会を兼ねたお茶会を。暑い一日でしたが晴天に恵まれ、今回も全員無事に帰りつき行事が終わりました。お疲れ様でした。 居田記

参加者のコメント

今まで志木の新河岸川と柳瀬川の合流点に何回か行っています。でも、いつも歩きのゴールのため、そこからバスで志木駅に行くだけだったので、「いろは樋」の事は全く知りませんでした。また、志木市の史跡の紹介等に力を入れているのがいいなあと思いました。

晴れて暑かったので昼・帰りのビールのおいしかったこと。朝早くてちょっと大変でしたが、帰りが早くて良かったです。埋蔵文化財保管センターでは解説してくださり他の地域との交流があったこと、土器の色や形でいろいろなことが分かることなど聞きやすくよく分かりました。解説がなかったら素通りでした。ありがとうございました。



いろはの樋の碑の前



休憩スナップ



昼食スナップ

本シリーズの 4 回目は如何でしたか？継続して 5 回目のコースを再度検討中で、距離も 5~7km 程度で収まればと思っております。次回もよろしくお祈りします。 居田